



ともに生き、ともに育むまち  
歴史と文化がくらしの中に息づく  
”新斑鳩の里“

みんなの想いが詰まった  
町立保育園の園歌ができました！  
園児みんなで歌ったよ♪



～あわ保育園入園式～

- 2 平成29年度予算  
—— 特集
- 8 まちの話題
- 10 いにしへの風〜斑鳩文化財センターだより〜
- 11 バゴちゃんの地球となかよし
- 12 図書館だより
- 13 協働のまちづくり住民活動センターだより
- 14 まちの情報
- 17 斑鳩町空家活用促進改修支援事業・  
斑鳩町まちなか観光景観形成事業のご案内
- 18 斑鳩町既存木造住宅耐震診断・  
耐震改修支援事業のご案内
- 20 公民館等における住民票の写し等  
の交付サービス廃止について
- 21 定期監査の結果
- 22 ほけんだより
- 24 町制70周年  
写真でたどろう斑鳩の記憶

2017

5

No. 620

# 平成29年度予算が きまりました

一般会計予算

**90億** (前年度比 **4.0%増**)

問合せ先 財政課 (☎内線253)

「人にやさしいまちづくり」をめざして  
町制70周年 節目の年

昭和22年2月11日に、龍田町、法隆寺村、富郷村が合併し、斑鳩町が誕生して、今年で70年という節目を迎えました。この間、日本が、戦後の復興期から目覚ましい経済成長を経て、豊かな国へと発展を遂げていったと同時に、本町の姿も様変わりいたしました。

その一方で、先人たちが、協力しあいながら、歴史を大切にし、文化を守り抜こうとしてこられたからこそ、世界最古の木造建築物である法隆寺をはじめとする歴史的・文化的遺産は、昔の姿を今に残し、これらと一体となった周辺の自然や町並みは、斑鳩の里として、良好な景観を形成しております。

平成29年度では、この豊かな自然と歴史が織り成す斑鳩の里のさらなる飛躍をはかり、将来の世代へ引き継いでいくため、今後も財源の確保に努めつつ、財政規律を守りながら、「総合計画」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく施策

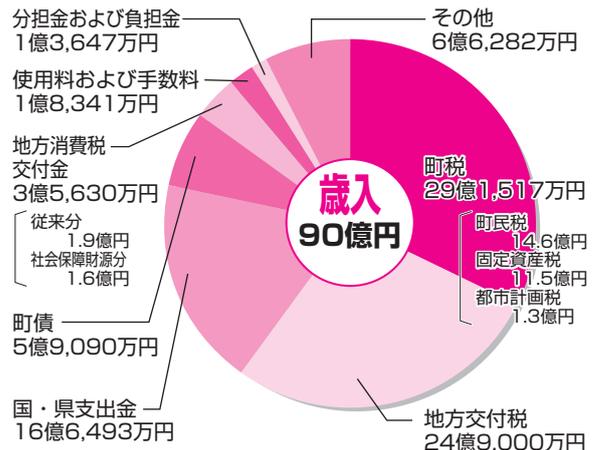
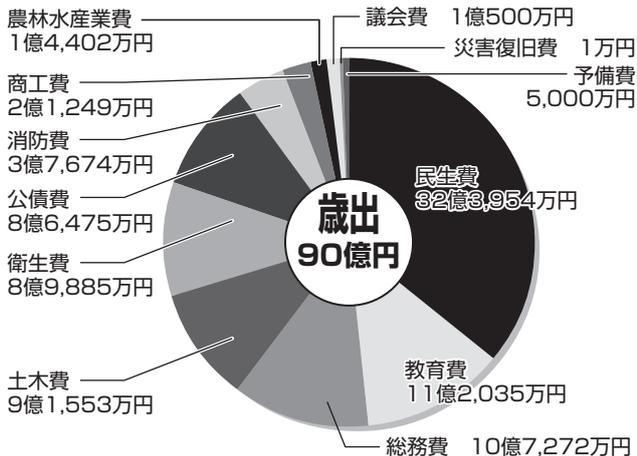
および事業を着実にすすめてまいります。

本町の人口については、平成28年における母子保健手帳の交付数を見る限りでは、出生数は増加傾向にあり、また、転入者が転出者を上回るなど、多くの市町村において人口減少が続くなか、現状の人口を維持している状況であります。

今後、予測される本格的な人口減少時代においても、未来を感じ取れる町であり続けられるよう、本町が持つ魅力を最大限に活用して、若い世代の定住促進や観光まちづくりを推進し、訪れる人をおもてなしの心で温かく迎える「人にやさしいまちづくり」に取り組んでまいります。



小城利重町長



■ 平成29年度会計別予算

会計名	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	比較		
			増減額	増減率	
一般会計	90億円	86億5,000万円	3億5,000万円	4.0%	
特別会計	79億2,140万円	77億7,800万円	1億4,340万円	1.8%	
特別会計の内訳	国民健康保険事業	36億8,770万円	36億6,010万円	2,760万円	0.8%
	公共下水道事業	13億7,570万円	13億7,190万円	380万円	0.3%
	介護保険事業 (保険事業勘定)	24億3,570万円	23億5,330万円	8,240万円	3.5%
	介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1,180万円	1,130万円	50万円	4.4%
	後期高齢者医療	4億1,050万円	3億8,140万円	2,910万円	7.6%
一般・特別会計合計	169億2,140万円	164億2,800万円	4億9,340万円	3.0%	
水道事業会計	10億9,219万円	10億7,276万円	1,943万円	1.8%	
総合計	180億1,359万円	175億 76万円	5億1,283万円	2.9%	

平成29年度予算を1か月の家計に例えてみると…

町の財政が家の家計だったらどうなるのでしょうか。

下記の表では、斑鳩町の一般会計予算額を、人口28,298人（平成29年1月1日現在）で割った数字を、斑鳩家の1か月の家計簿に例えています。



● 1か月の総収入額…31万8千円

斑鳩家の収入	収入額	構成比	〈参考〉 平成27年度 決算	
給料	103,000円	32.4%	102,000円	町税
雑収入（内職・パート収入や不動産収入、貯金の取崩し）	20,000円	6.3%	15,000円	使用料および手数料 繰入金 その他の収入
前月からの繰越金	9,000円	2.8%	17,000円	繰越金
親せきからの援助	165,000円	51.9%	166,000円	地方交付税
				国庫支出金
				県支出金
				地方消費税交付金 その他の交付金
新たな借入金	21,000円	6.6%	20,000円	町債
合計	318,000円	100.0%	320,000円	

● 1か月の総支出額…31万8千円

斑鳩家の支出		支出額	構成比	〈参考〉 平成27年度 決算	
生活費	食費	52,000円	16.4%	55,000円	人件費
	医療費、教育費など	52,000円	16.4%	50,000円	扶助費
	ローンの返済	30,000円	9.4%	31,000円	公債費
その他の生活費	光熱水費、消耗品費など	69,000円	21.7%	64,000円	物件費
	家の修繕費	5,000円	1.6%	4,000円	維持補修費
	自治会費、スポーツクラブ会費など	35,000円	11.0%	35,000円	補助費等
	貯金	1,000円	0.3%	1,000円	積立金
	子どもへの仕送り	43,000円	13.5%	42,000円	繰出金
家の増築費	家の増築費用	29,000円	9.1%	21,000円	普通建設事業費など
その他	来月への繰越金	2,000円	0.6%	17,000円	歳計剰余金
合計		318,000円	100.0%	320,000円	

■ 財政用語辞典

歳入

**町税** 町民税、固定資産税、都市計画税など。なお、都市計画税は、目的税として都市計画事業に要する経費にあてられます。

**地方交付税** 所得税など国が徴収する税金の中から、町の財政状況に応じて交付されるお金

**地方消費税交付金** 地方消費税（消費税8%のうち17%）。なお、社会保障財源分は、消費税率引上げ分として、社会保障施策に要する経費にあてられます。

**町債** 大きな事業を行うために、国、金融機関などから借り入れるお金

歳出

（目的）

**民生費** 高齢者・障がい者・児童福祉サービスなどに使うお金

**衛生費** 健康診断やごみ処理などに使うお金

**商工費** 商工業の振興、観光事業などに使うお金

**土木費** 道路整備や浸水対策などに使うお金

**教育費** 幼稚園・小中学校の運営や、公民館など、教育の振興のために使うお金

**公債費** 町債（借入金）を返済するために支払うお金

（性質）

**扶助費** 児童手当、子ども・老人・重度障がい者の医療費助成金など

**補助費等** 各種事業や団体への補助金や負担金など

**繰出金** 国民健康保険などの特別会計へ繰り出して使うお金など

**普通建設事業費** 道路の整備などに使うお金

# 平成29年度の主要事業

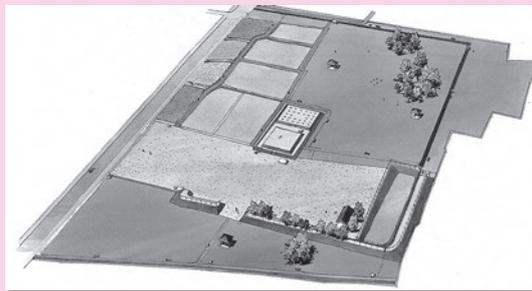
「人にやさしいまちづくり」をめざす斑鳩町の平成29年度の主要な事業を、第4次斑鳩町総合計画の基本施策の柱に沿って、紹介します。



## 1

**文化の香り高く  
心豊かなまちづくり**  
―人づくりと文化の振興―

○地域の人や斑鳩の里を訪れる人の憩いの場として、現在整備中の史跡中宮寺跡について、本年度での整備完了に向け、引き続き工事を実施します。



史跡中宮寺跡整備完成予想図。(基本設計策定時)史跡公園として開放し、歴史を身近に感じられる環境づくりをすすめます。

(2億3,000万円)

○幼稚園で提供している弁当給食を温かい給食に変更するとともに、週2回から週4回に拡充して提供します。また、保護者の自己負担の軽減をはかるため、給食費の助成を行います。  
(277万円)

○小・中学校で提供している学校給食について、保護者のさらなる自己負担の軽減と子育て支援の充実をはかるため、給食費の助成を拡充します。  
(1,330万円)



ランチルームで、楽しそうに給食を食べる子どもたち

○家庭における洋式トイレの普及に伴い、小学校の和式トイレについて、引き続き、洋式化をすすめます。  
(450万円)

○児童の安全確保をより一層はかるため、斑鳩小学校の渡り廊下など付帯施設の耐震補強工事を実施します。  
(4,084万円)

○夏季における学校環境の改善をはかるため、各中学校の音楽室にエアコンを設置します。  
(450万円)

○町制70周年記念事業として、法隆寺食封ゆかりの4市を招き、各都市の歴史・文化の理解を深めていくための今後の交流のあり方などを話しあう(仮称)法隆寺食封サミットを開催します。  
(111万円)

○町制70周年記念事業および国民文化祭参加事業として、金剛流宗家による能楽公演を開催します。  
(401万円)



能楽金剛流発祥の地「斑鳩の里」を内外に広く発信します。

○駒塚古墳の国史跡指定をめざし、詳細な造営年代などを把握するため、古墳の埋葬施設の確認調査などを実施します。  
(410万円)

○高齢者や障がい者など、図書館利用が困難な人などを対象に、自宅のパソコンなどを使って電子書籍を利用できる電子図書館サービスを開始します。  
(208万円)

## 2 すこやかに生き生き くらせるまぢづり

保健・福祉・医療の充実

○町内における保育環境の充実をはかるとともに、保育ニーズに対応するため、斑鳩黎明保育園の増築整備を支援します。

(1億6200万円)

○学童保育について、児童の預かり体制の拡充をはかるため、午後7時30分までの預かりを可能とする延長保育を実施します。

(3000万円)



親と子がすこやかに暮らすことのできるまちをめざします。

○中学校修了までの子どもの医療費を助成し、子育て家庭の経済的な負担を軽減します。

(1億2000万円)

○母子保健施策と子育て支援施策を総合的に提供するため、妊産婦と乳幼児の健康の保持・増進に関するワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを整備します。

(151万円)



斑鳩文化財センターで、歴史について学ぶ「斑鳩っ子」たち

○産後うつや、新生児への虐待予防のため、出産後間もない時期の産婦に対して、健康診査受診費用の一部を助成します。

(138万円)

○病気または病気の回復期にある児童を、医療機関など専用施設で一時的に預かる病児保育事業の利用者に対して、利用料の一部を助成します。

(4万円)

○住民の健康づくりのさらなる普及促進をはかるため、健康づくりに取り組みながらポイントを貯め、景品などと交換できる「健康マイレージ」を導入します。

(53万円)



「健康マイレージ」は栄養・運動・コミュニケーションなど、さまざまな分野を対象にすすめます。

○介護職員の技能の向上と介護施設などへの就労支援のため、介護職員初任者研修費用の一部を助成します。

(50万円)

○選挙などにおける投票所への移動支援として、移動が困難な身体障がい者がタクシーを利用された場合、または、要介護認定を受けた高齢者が訪問介護サービスを利用された場合に、費用の一部を助成します。

(46万円)

○自助、公助、共助を理念に町と住民が一体となり、地域福祉に向きあうことのできる指針として、地域福祉計画を2か年計画で策定します。

(146万円)



健康寿命の延伸に向けたさまざまな施策を実施し、健康寿命奈良県1位をめざします。

○今後の高齢化率や要介護認定者数を推計するとともに、計画期間内の介護保険サービスの給付見込みを立て、必要なサービス基盤の整備などについての検討を行い、介護保険事業計画と高齢者福祉計画の見直しを行います。

(195万円)



3

潤いのある  
魅力的なまちづくり  
―都市環境の整備―

○歴史的風致維持向上計画の着実な推進に向けて、歴史的な町並みを維持しながら周囲と調和する修景整備を支援します。  
(4,410万円)



○法隆寺などの歴史的な町並みの保全と一体として、修景整備支援を行います。

○本町に適した公共交通を確保するため、コミュニティバス実証運行計画に基づき、町内を2台で循環する実証運行を引き続き行います。  
(3,539万円)

○日常生活における安全、安心を維持するため、危険性の高い空家について、所有者が解体や撤去のために行う工事に対し、費用の一部を助成します。  
(31万円)

○空家を解消し有効に活用できる住宅ストックとすることにより、定住や転入を促進するため、空家を居住などのために改修する場合の改修費用の一部を助成します。また、本事業を利用する子育て世帯に対しては、補助金の加算を行います。  
(210万円)

○いかるがパークウェイの事業進捗にあわせ、都市計画道路法隆寺線の本線工事を実施します。  
(3,003万円)

○いかるが溜池において、水辺を生かした親水性や新緑性を高めた散策ルートや公園整備を、引き続き県営事業としてすすめます。  
(2,571万円)



いかるが溜池。平成29年度では、公園施設の整備などをすすめます。

4

安全で快適な  
まちづくり  
―生活環境の整備―

○平成29年度に全国4例目となる「ゼロ・ウェイスト宣言」を行うことから、町制70周年記念事業として、そのお披露目を含めたゼロ・ウェイスト啓発のためのイベントを開催します。  
(143万円)



「くりかえし使ってくれてありがとう(陶器)市」のようす。ごみを減らす取り組みをすすめます。

○橋りょうの状況を把握するための定期点検をすすめるとともに、平成29年度では、セナガ橋補修工事を実施します。  
(2,080万円)

○東日本大震災における被災状況を教訓とし、防災重点ため池として、桜池、天満池の耐震性再調査を実施するほか、慶花池、毛無池のハザードマップを作成します。  
(2,735万円)

○災害時に優先的に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、業務継続に必要な資源の確保などをあらかじめ定める業務継続計画を策定します。  
(280万円)

○災害発生時における住民の避難情報などの円滑な伝達をはかるため、引き続き防災情報メールや緊急速報メールを配信します。また、視覚・聴覚障がい者や高齢者などを対象として、音声電話やfaxによる新たな災害情報伝達システムを導入します。  
(245万円)

○災害に備え、的確で迅速な避難体制が確立できるよう、大和川の浸水想定区域や土砂災害警戒区域などの見直しに伴い、洪水ハザードマップを更新するとともに、地震ハザードマップを包括した、新たな防災ハザードマップを作成します。  
(265万円)

○登下校時の子どもの安全を確保するため、通学路を中心に防犯カメラを設置します。  
(114万円)

5

活力とにぎわいのある  
まちづくり  
―産業・観光の振興―

○滞在型観光、まちあるき観光への転換による地域経済の活性化をはかるため、まちあるき拠点用地の購入をすすめるほか、聖徳太子1400年御遠忌に向け、モニユメント広場の整備に着手します。  
(1億990万円)



1週間連続で町を盛り上げる、いかるがWeeeeeK

○歴史的資源を活用した創業を促進するため、創業や新規事業所の開設を支援する補助制度を創設するとともに、創業支援員による相談、創業支援のための拠点整備などを行い、観光振興と地域経済の発展、雇用の創出をはかります。  
(8000万円)

○安全で快適なまちあるき観光の実現につながるため、観光サイン配置計画に基づき、観光案内サインの設置をすすめます。  
(600万円)

○農業の担い手に集中する水路・農道などの管理を地域で支え、農地集積を後押しするため、多面的機能を支える共同活動を支援するとともに、地域資源の質的向上をはかる共同活動を支援します。  
(950万円)

○農業基盤の総合的な整備をすすめるため、農道の整備を行います。  
(2,482万円)

6

ともに築く  
協働のまちづくり  
―地域自治の強化―

○地域住民の福祉の増進と地域コミュニティを育成するため、自治会などが行う地域集会所の整備などにかかる費用の一部を助成します。  
(2,000万円)

○住民と行政の協働のまちづくりを推進するため、「活動提案事業補助金」による住民活動団体への支援を引き続き行います。  
(165万円)



7月に開設した住民活動センター。住民活動団体の活動を支えます。

○町制70周年・いかるがホール開館20周年記念事業として、宗次郎によるオカリナコンサート、相川七瀬による古代舞(米)コンサートを開催します。  
(763万円)

○マイナンバーカードを利用して、全国のコンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機から、証明書の交付を受けられるサービスの運用を行います。  
(1962万円)

当町で受付した義援金の送金状況

【平成29年3月8日現在】

●東日本大震災義援金

日本赤十字社  
奈良県支部あて  
13,556,571円  
岩手県大槌町あて  
5,882,656円

●平成28年  
熊本地震災害義援金

日本赤十字社  
奈良県支部あて  
1,244,761円  
熊本県益城町あて  
132,404円

東日本大震災・  
平成28年熊本地震災害  
義援金の受付期間を  
延長しました

日本赤十字社が行っている、東日本大震災・平成28年熊本地震災害の義援金については、受け付け期間が平成30年3月31日まで延長されることになりました。引き続きみなさんのご支援をよろしくお願いします。